

# 2020年度第1四半期 業績の概要

2020年8月7日

日本生命保険相互会社  
Nippon Life Insurance Company

# 日本生命グループにおける 新型コロナウイルス感染症に関連するこれまでの取り組み

## お客様

＜ご契約に対する特別取り扱い・契約貸付（新規貸付）の利息免除について＞

- 保険料の払い込みに関する期間の延長
- 保険金・給付金・契約貸付金の簡易迅速なお支払い
- 保険契約の更新手続きの遡及対応
- 新規の契約貸付の利息免除（2020年6月30日にて取り扱い終了）

＜「新型コロナウイルス感染症」に罹患されたお客様への保険金・給付金のお支払いについて＞

- 自宅またはその他病院などと同等とみなされる施設で治療を受けられる場合も、入院給付金のお支払いの対象
- 災害死亡保険金等のお支払いについて、「新型コロナウイルス感染症」を直接の原因としてお亡くなりになった場合などにも、「災害割増特約」「（新）傷害特約」等のお支払いの対象

## 地域 ・ 社会

＜医療機関等への支援について＞

- 日本赤十字社の血液センターへの提供を目的に社内献血を大阪本店および東京本部にて実施
- 医療関係機関に1億円の寄付
- フェイスシールド1万個を医療現場等へ無償提供

＜資産運用での貢献について＞

- 米州開発銀行が発行するサステナブル・シティ・ボンドに1.4億豪ドル（約104億円）を投資
- TPG社が運用するファンドに20百万米ドル（約21億円）を投資（インパクト投資の開始）
- 国際金融公社が発行するソーシャルボンドに2億豪ドル（約131億円）を投資

## 1 グループ概況

## 2 国内生命保険事業

【参考】グループ各社の概況

# 1 グループ：主要項目概要

保険料等収入 (単位：億円)

⇒ 12,288  
(前年同期比 ▲13.7%)

基礎利益 (単位：億円)

⇒ 1,225  
(前年同期比 ▲12.7%)

ソルベンシー・マージン比率 (単位：%)

⇒ 1,080.0  
(前年度末比 +32.5pt)

有価証券 含み損益 (単位：億円)

⇒ 115,825  
(前年度末比 +15.7%)

## 国内生命保険：個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

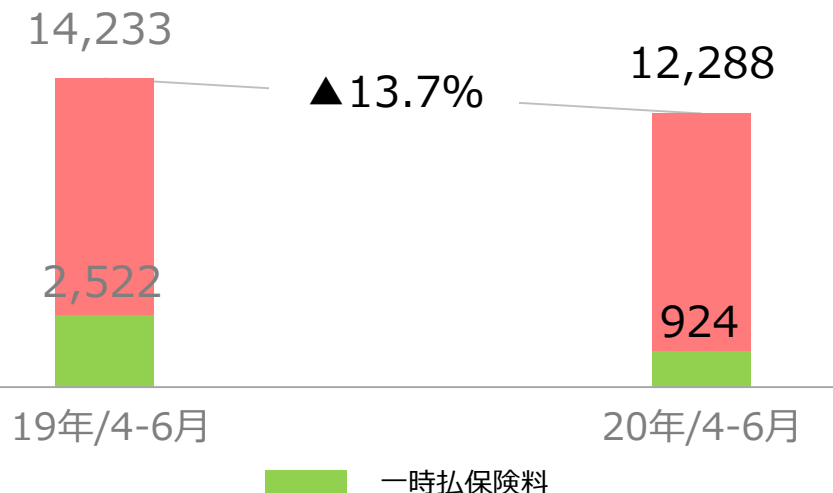
	年換算保険料	件数	保障額等
新契約	⇒ 393 (前年同期比 ▲62.8%)	⇒ 39 (前年同期比 ▲70.8%)	⇒ 8,133 (前年同期比 ▲63.3%)
保有契約	⇒ 44,979 (前年度末比 ▲0.6%)	⇒ 3,603 (前年度末比 ▲0.4%)	⇒ 1,775,551 (前年度末比 ▲0.9%)

# 1 グループ：保険料等収入・基礎利益



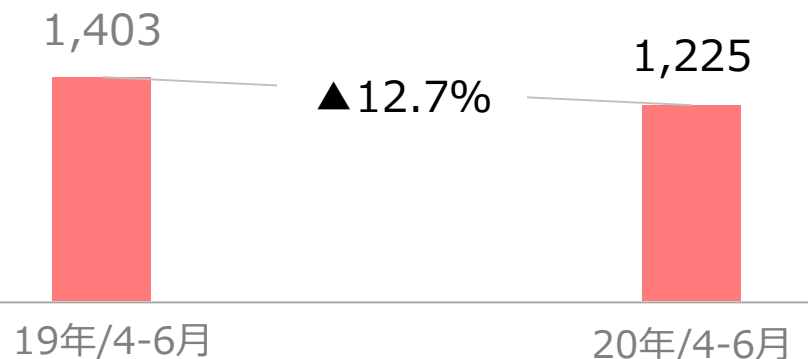
## 保険料等収入

(単位：億円)



## 基礎利益

(単位：億円)



	2020年 4-6月	前年同期比
保険料等収入	12,288	▲13.7%
日本生命	9,914	▲12.8%
大樹生命	1,121	▲28.5%
ニッセイ・ウェルス生命	755	▲0.7%
MLC	389	▲11.8%

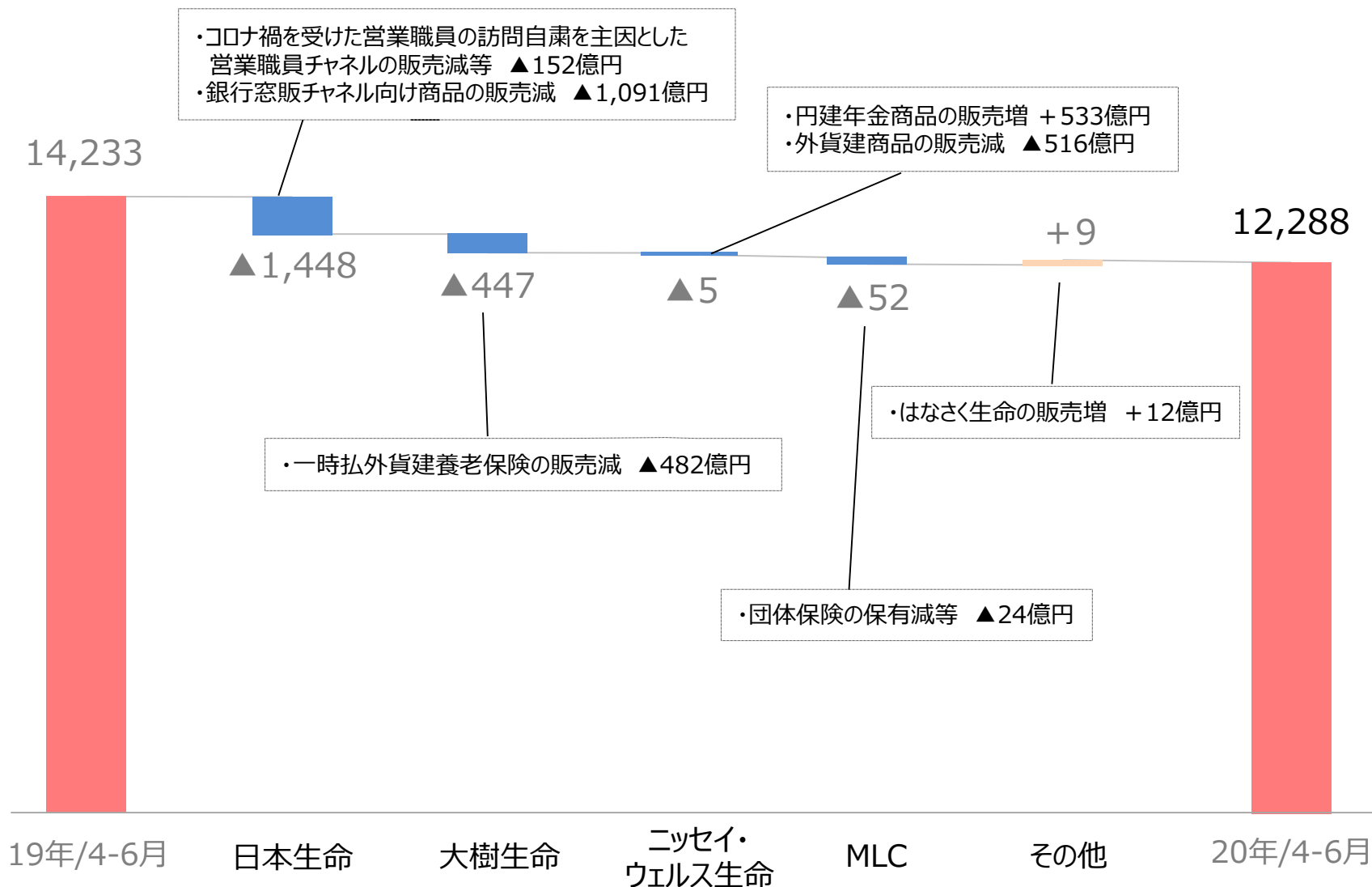
	2020年 4-6月	前年同期比
基礎利益	1,225	▲12.7%
日本生命	1,229	▲2.5%
大樹生命	33	▲52.4%
ニッセイ・ウェルス生命	49	▲37.4%
はなさく生命	▲34	▲179.1%
MLC	▲49	▲239.7%

※一時払保険料は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命における個人保険・個人年金保険の一時払商品を対象に算出  
 ※合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

※合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のASETマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

# 1 グループ：保険料等収入

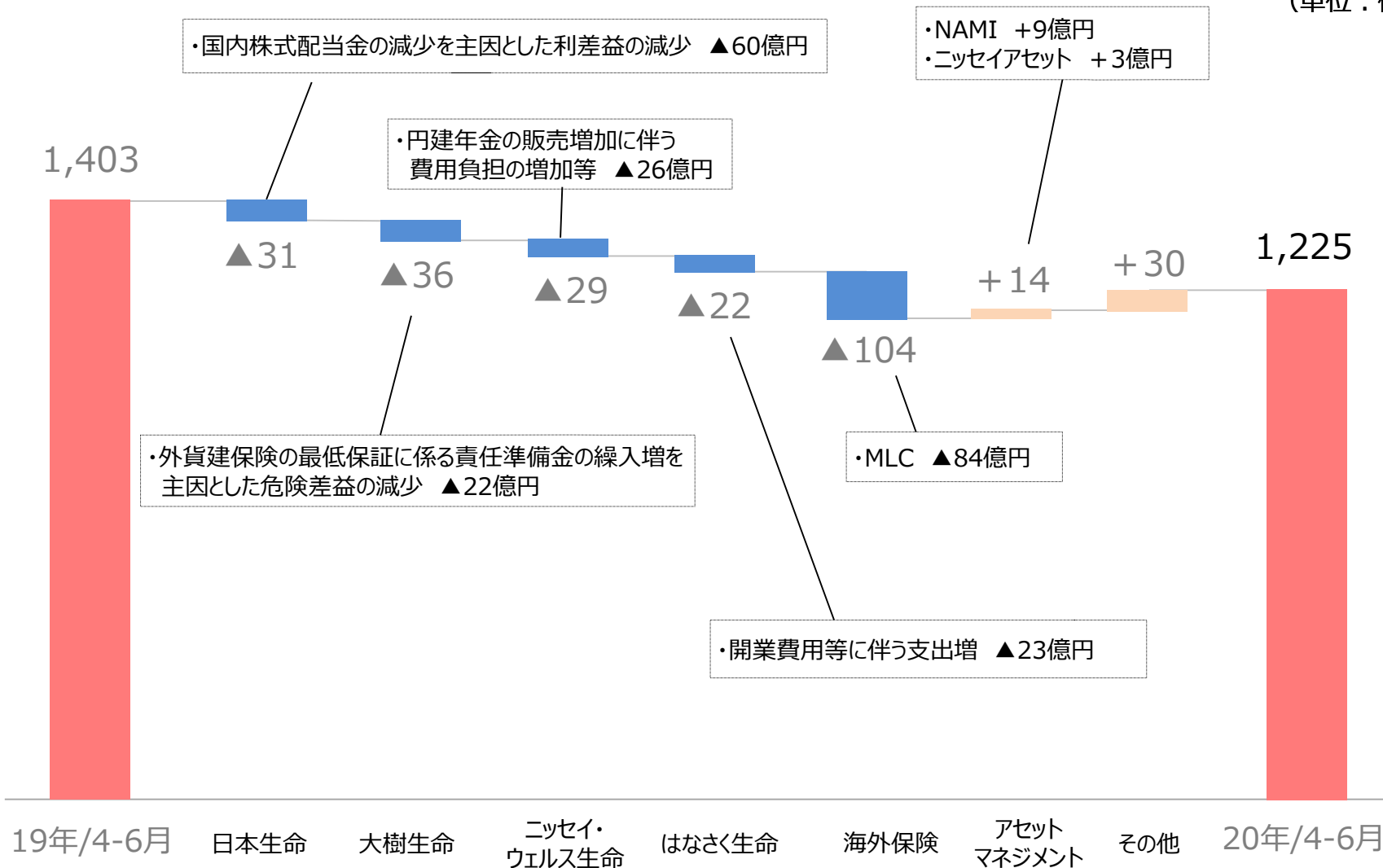
(単位：億円)



※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）

# 1 グループ：基礎利益

(単位：億円)



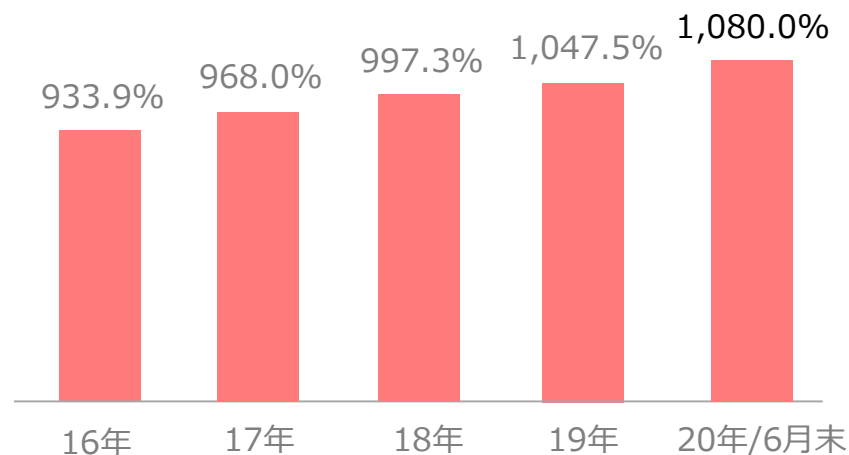
※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ その他は配当相殺の増減

※ 【会社名称】 NAMI：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント

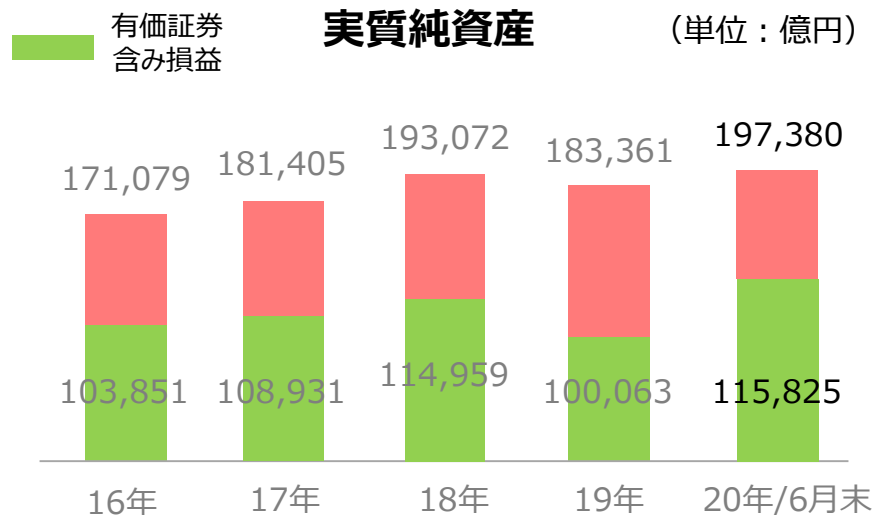
- ソルベンシー・マージン比率は、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、前年度末比で増加。
- 実質純資産は、自己資本の着実な積み増しに加え、内外株価の上昇による有価証券の含み益の増加により、前年度末比で増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 実質純資産

(単位：億円)



※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出



## 損益計算書

- 有価証券売却益の計上を主因に、経常利益および四半期純剰余は前年同期比で増加。

(単位：億円)

	2020年 4-6月	前年同期比
経常収益	20,099	+4.2%
保険料等収入	12,288	▲13.7%
資産運用収益	7,255	+63.1%
経常費用	18,867	+1.6%
保険金等支払金	11,332	▲0.3%
資産運用費用	1,078	▲34.4%
事業費	1,921	▲5.2%
経常利益	1,232	+69.8%
(基礎利益)	1,225	▲12.7%
特別損益	▲434	▲157.2%
四半期純剰余(利益)	676	+31.6%

## 貸借対照表

- 有価証券含み益の増加に伴い、総資産および純資産は、前年度末比で増加。

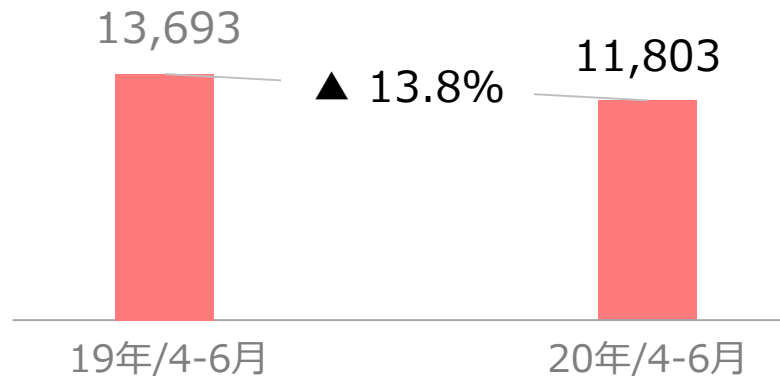
(単位：億円)

	2020年 6月末	前年度末比
総資産	824,344	+2.9%
うち有価証券	676,881	+4.0%
うち貸付金	85,551	+1.4%
うち有形固定資産	19,127	▲0.0%
負債	751,882	+1.7%
うち保険契約準備金	672,244	+0.7%
うち責任準備金	657,481	+0.5%
うち価格変動準備金	15,713	+2.6%
純資産	72,462	+17.7%

- 国内における保険料等収入は減収。
- 営業職員等チャネルは、訪問活動の自粛に伴う新契約の減少により減収。
- 銀行窓販チャネルは、海外金利の低下やコロナ禍を受けた銀行窓販チャネル向け商品の販売減少により減収。
- 団体保険・団体年金保険は減収となるも、保険料入金タイミングのずれ等の一過性要因を除けばほぼ横ばい。

### 保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2020年 4-6月	前年同期比
保険料等収入（国内計）	11,803	▲13.8%
うち個人保険・個人年金保険	8,054	▲18.0%
営業職員等チャネル	7,115	▲8.7%
銀行窓販チャネル	938	▲53.8%
うち団体保険	725	▲5.7%
うち団体年金保険	2,743	▲6.2%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

## 2 国内生命保険：新契約

- 国内の個人保険・個人年金保険の年換算保険料・件数・保障額等は訪問活動の自粛により、前年同期比で減少。
- ニッセイ・ウェルス生命では生存保障重視特則付年金(円建)の好調な販売により、件数は前年同期比で増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険	年換算保険料		件数		保障額等	
	2020年 4-6月	前年同期比	2020年 4-6月	前年同期比	2020年 4-6月	前年同期比
国内計	393	▲62.8%	39	▲70.8%	8,133	▲63.3%
営業職員等チャネル	219	▲60.6%	37	▲70.9%	7,178	▲63.9%
銀行窓販チャネル	173	▲65.3%	1	▲67.1%	955	▲57.6%
日本生命	205	▲64.1%	35	▲72.2%	6,535	▲65.8%
大樹生命	30	▲70.9%	1	▲71.0%	863	▲64.0%
ニッセイ・ウェルス生命	149	▲60.7%	0	+21.5%	654	▲0.8%

※ 国内計・チャネル別内訳は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料・件数・保障額等ともに減少。
- 団体保険・団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険	年換算保険料		件数		保障額等	
	2020年 6月末	前年度末比	2020年 6月末	前年度末比	2020年 6月末	前年度末比
国内計	44,979	▲0.6%	3,603	▲0.4%	1,775,551	▲0.9%
日本生命	37,318	▲0.8%	3,305	▲0.4%	1,558,466	▲0.9%
大樹生命	5,149	+0.1%	258	▲0.6%	185,580	▲0.6%
ニッセイ・ウェルス生命	2,465	+0.8%	33	+1.2%	31,328	+0.5%

団体保険・団体年金保険	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2020年 6月末	前年度末比	2020年 6月末	前年度末比
国内計	1,107,239	+0.7%	171,406	+1.6%
日本生命	987,717	+0.9%	134,037	+0.1%
大樹生命	119,521	▲1.3%	7,854	+0.3%

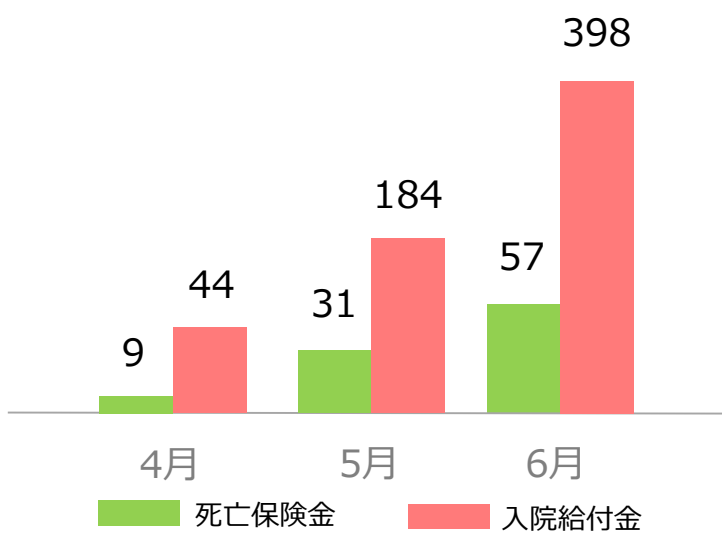
- ※ 個人保険・個人年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値
- ※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
- ※ 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(24,556億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分4,946億円)を含む

# 国内生命保険：新型コロナウイルス感染症への対応について

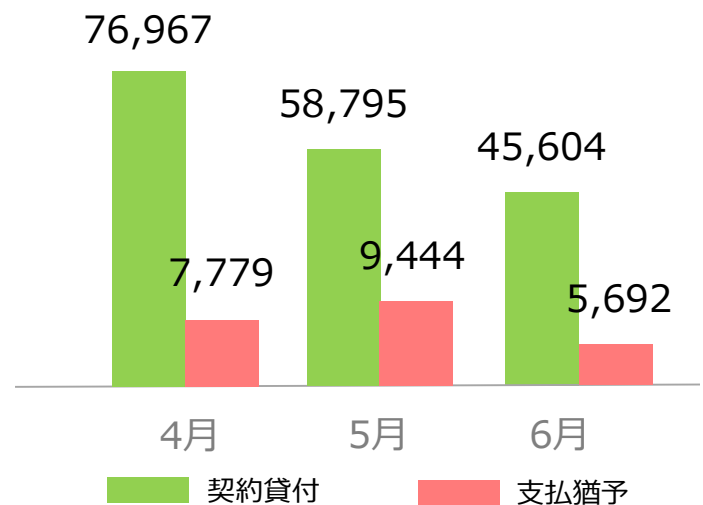
- 新型コロナウイルス感染症による保険金や給付金の支払状況
  - 死亡保険金：約100件、約14.8億円
  - 入院給付金：約620件、約1.2億円
- 契約貸付の件数は約181,000件、金額は 約781.3億円
  - 個人保険の受付件数：約173,000件、約314.5億円
  - 法人保険の受付件数：約8,000件、約466.7億円
- 支払猶予の件数は約23,000件

(単位：件)

### 死亡保険金・入院給付金の支払実績



### 契約貸付・支払猶予の実績

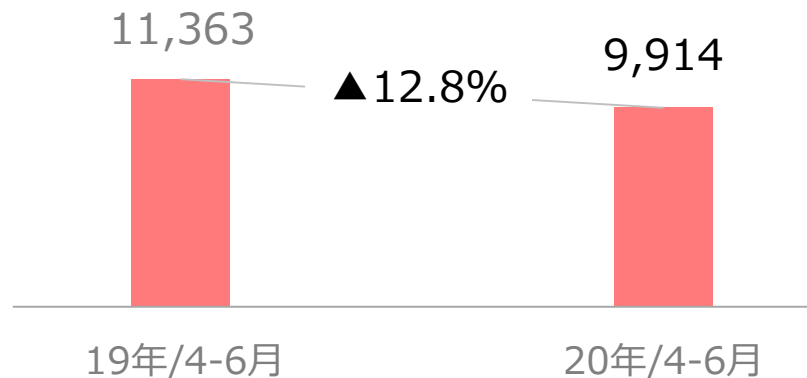


**【参考】**  
**グループ各社の概況**

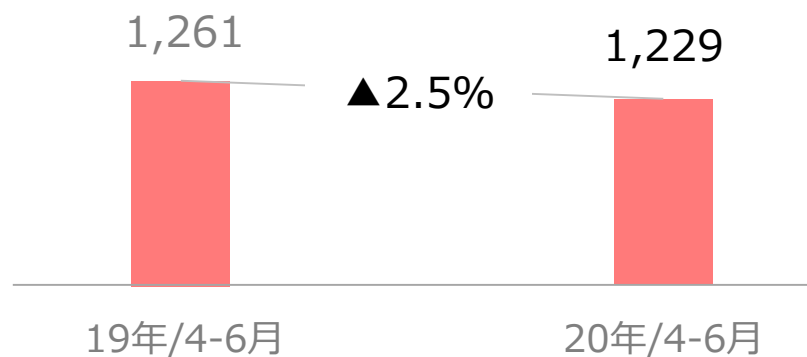
(単位：億円)

- 日本生命単体は前年同期より減収・減益。
- 保険料等収入は、コロナ禍を受けた営業職員の訪問自粛や、銀行窓販チャネル向け商品の販売減少により減収。
- 基礎利益は、国内株式配当金の減少を主因に減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益



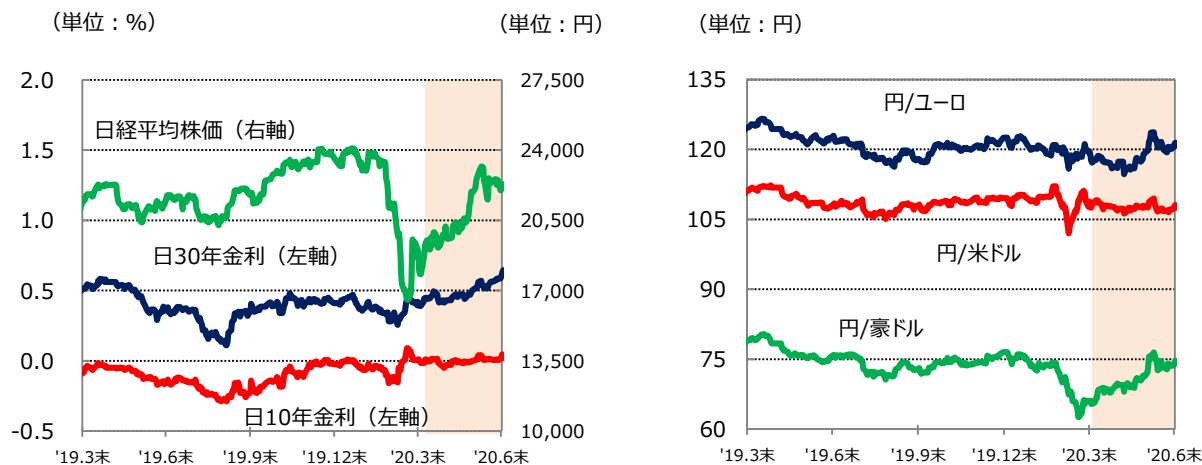
# 【参考】日本生命（単体）：資産運用

## 資産運用収支（一般勘定） （単位：億円）

- 資産運用収支は前年同期より増加。
- 資産運用収益は、社債スプレッドの拡大を捉えた外国債券の入替に伴う有価証券売却益の増加により増加。
- 資産運用費用は、相場回復を受け、ヘッジ目的のデリバティブについて評価損を計上したことにより増加。

	2020年 4-6月	前年同期差
資産運用収益	5,356	+1,951
うち利息及び配当金等収入	3,070	▲73
うち有価証券売却益	2,203	+1,950
資産運用費用	944	+128
うち有価証券売却損	10	▲92
うち有価証券評価損	5	▲248
うち金融派生商品費用	407	+334
資産運用収支	4,411	+1,822

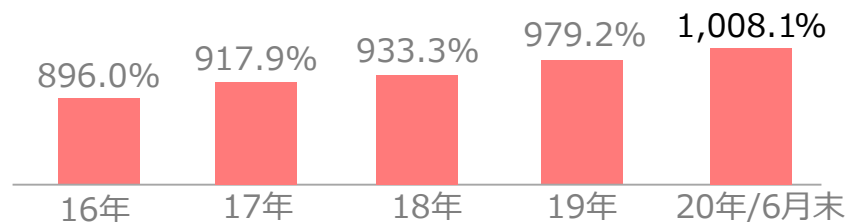
## マーケット状況





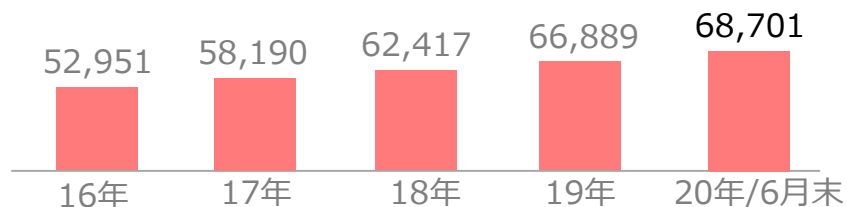
- ソルベンシー・マージン比率は、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、前年度末比で増加。
- 有価証券の含み益は、内外株価の上昇により前年度末から増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 自己資本

(単位：億円)



## 有価証券 含み損益

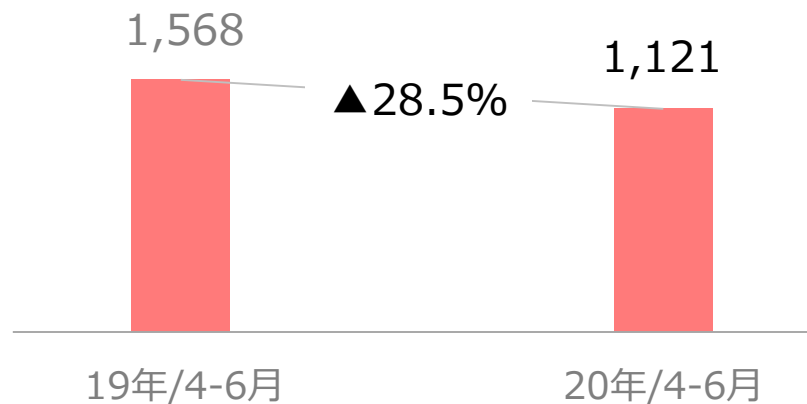
(単位：億円)

	2020年 6月末	前年度末差
時価のある有価証券	109,628	+13,793
公社債	35,786	▲ 3,413
国内株式	41,067	+9,286
外国証券	30,684	+8,018
その他	2,090	▲ 98

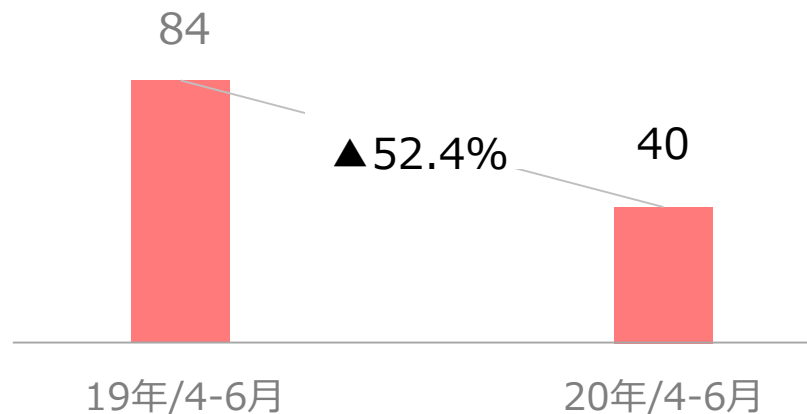
(単位：億円)

- 大樹生命は前年同期より減収・減益。
- 保険料等収入は、コロナ禍を受けた営業職員の訪問自粛や、海外金利の低下により一時払外貨建養老保険の販売を停止したことにより減収。
- 基礎利益は、海外金利の低下によって外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の繰入が増加したこと等により減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益

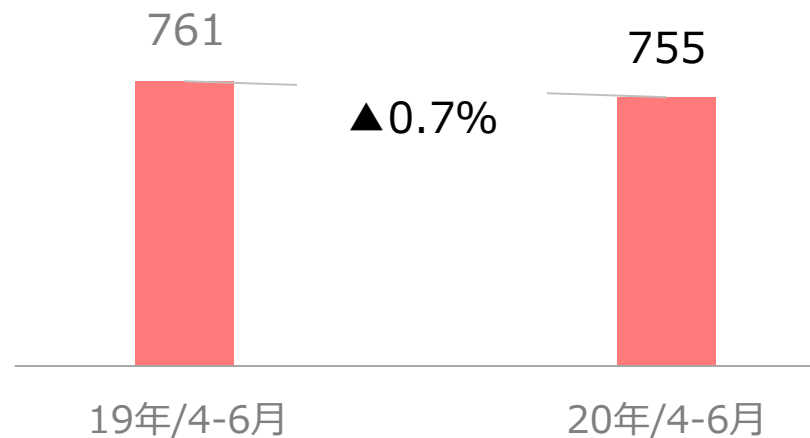


※ 単体の数値を記載

(単位：億円)

- ニッセイ・ウェルス生命は前年同期より減収・減益。
- 保険料等収入は、生存保障重視特則付年金(円建)の販売が増加し、ほぼ横ばい。
- 基礎利益は、生存保障重視特則付年金(円建)の販売増加に伴う費用負担の増加により減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益

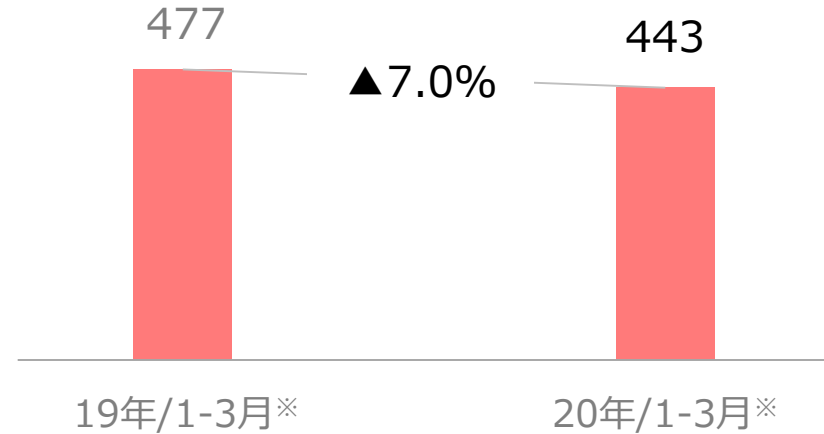


※ 単体の数値を記載

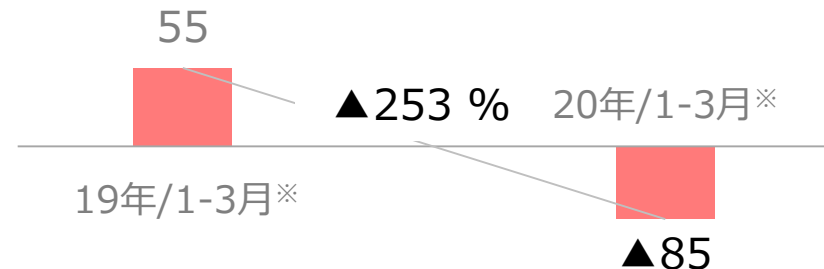
(単位：百万豪ドル)

- MLCは、前年同期より減収・減益。
- 収入保険料は、個人保険の販売は好調であった一方、団体保険および銀行窓販の販売が減少したことにより減収。
- 基礎利益は、支払増加および新型コロナウイルス感染症拡大を受けた、運用収益の悪化を主因に減益。

## 収入保険料



## 基礎利益



- ※ 単体の数値を記載
- ※ 第1四半期決算では1-3月期を連結反映
- ※ 収入保険料は、手数料を除いた数値を記載
- ※ 基礎利益は、税引前利益から金利変動等の影響を除いた数値を記載

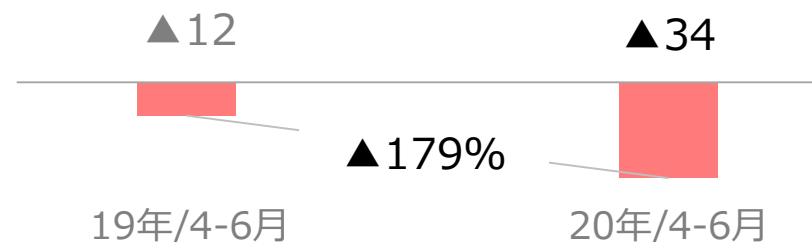
(単位：億円)

- はなさく生命は、2019年6月24日より販売開始。
- 前年同期より増収・減益。
- 保険料等収入は、商品ラインアップの拡充等により、開業した前年同期より増加。
- 基礎利益は、事業費等の支出に伴う費差損を主因に減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益



※ 単体の数値を記載

※ はなさく生命を2019年度第1四半期から連結反映